

第14号

【発行】秋田県南工業振興会事務局
横手市役所企業振興室内
0182 32 2111 内線 324
2000年12月1日

E-mail akks@rnac.ne.jp

秋田県南工業振興会

発明・開発・異業種交流を語る

今年度3回目を数えるナイトフォーラムは横手市のセントラルホテルで開催され、会場は予定した参加者を大きく上回る80人が参加しました。毎回、さまざまな分野で活躍されている方をゲストに迎え、講演やトークで楽しむ企画で今回で11回目を迎えている事業です。

今回のゲストは、横手市出身で東宮異業種交流クラブの会長をして



「通」と芸術が十字の道に進んだ経緯を話し、開発したマインスイオオンの発注により煙が分解されるという実験が行われ、煙草の煙が一瞬のうちに消えたことでマイナスイオンのすばらしさが会場は驚きに包まれました。

雄幸氏(秋田銀行横手支店長)との軽妙な掛け合いでのトークが行われました。

えっ！煙が消えた！
講演の中で、吉松氏は「振動によって電気が音源は共

また、発明や開発は、困っているところを探るところから始め、アイデアはひらめきの瞬間を大事にすること、そして何よりも健康が第一であることと強調されました。

失敗は歓迎すべき

トークではコーディネーターの杉山支店長の司会から、吉松氏はワイヤレスマイクを開発したり、心電図の基になったものを造った方であることも明らかにしました。

リコー光学(株) 切砥琢磨の製品づくり



花巻市起業化支援センター等を視察

これまで、会では交流や、企業の技術向上、研修を目的に会員企業の視察研修を行っています。今回は、花巻市に誘致されている「リコー光学」と

「花巻市起業化支援センター」を11月22日視察させていただけました。

今回の視察は、初めての先進企業、国内トップ企業といつこともあって、光学系企業の参加が目立ちました。当初、相手企業であるリコー

異業種交流の点では会場の中から、平鹿地方部長の「もみぐらと発注の関係」の交流体験が話しをされたり、会場は大いに盛り上がりました。

吉松氏は、異業種交流の今後の動向について「企業間で工場見学など積極的に進まない切砥琢磨することが大事」と、研究者としてのやりがいについて「はっと」といふ問いに「起業者に失敗はつき物、なぜ失敗したかの原因を追求することによって必ず道はある。失敗は歓迎すべきものだ」と締めくくりました。

「リコー光学」からは、同業種の企業からの視察は遠慮してほしい旨の申し入れがありました。最終的には、参加全企業が受け入れられ、視察・研修を行いました。

リコー光学(株)では、会社の沿革から、その時代時代での問題点などの説明があり、その後、工場見学に移り製作現場を視察しました。

視察参加企業

- 横手精工(株)
- 五十嵐印刷(株)
- (有)十文字光学
- 三共光学工業(株)
- アネスト岩田(株)
- (株)ロイヤルパーツ
- 羽後電工(株)
- 横手営業所